

日本音楽史学の中核的拠点、上野学園大学 日本音楽史研究所創設以来40年にわたる研究の蓄積と成果を踏まえた叢刊。同分野の研究に必須の史料を厳選。史学・美術・文学研究にも新たな史料を提供する。

日本音楽史料叢刊 1

陽明文庫蔵 舞絵〔舞楽散楽図〕 法隆寺旧蔵 揩鼓

編集 上野学園大学日本音楽史研究所

執筆 福島和夫 (上野学園大学 日本音楽史研究所)
藤原重雄 (東京大学史料編纂所)

◎高久国際奨学財団研究助成事業◎

2016年4月
刊行予定

▶ A4判横本・252頁／定価:本体 2,700円(税別)

ISBN978-4-7842-1804-2

【内容】

図版篇

陽明文庫蔵 舞絵〔舞楽散楽図〕(全頁カラー影印)

論考篇

〔舞楽散楽図〕

福島和夫

日本中世の図譜的な舞楽図

藤原重雄

——〔舞楽散楽図〕と宗達屏風の狭間

法隆寺旧蔵「揩鼓」

福島和夫

——西域伝来の楽器揩鼓に関する総合的研究

舞絵〔舞楽散楽図〕

陽明文庫蔵本は美術史にまだ知られぬ優品。唐代舞楽・散楽の白描画。原本は唐代に成立し、日本に将来されたと推定される。陽明文庫蔵本が現存諸本中の祖本。

揩鼓(かいこ)

康治2年(1144)墨銘の法隆寺旧蔵揩鼓は、世界唯一の伝存楽器。西域より中国を経て日本に将来された。指でこすって音を出す特殊な奏法で知られる。



陽明文庫蔵 舞絵〔舞楽散楽図〕より

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票

発行: 思文閣出版

(京都 取引コード 3402)

冊数	冊	陽明文庫蔵 舞絵〔舞楽散楽図〕・法隆寺旧蔵 揩鼓 本体2,700円(税別) ISBN978-4-7842-1804-2	
お名前		tel	本書HPのQRコード
ご住所	〒	e-mail	
送本方法	代引(書籍代+消費税+送料400円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎		



※古楽古歌謡集

陽明叢書国書篇 第8輯

土橋寛・岸辺成雄・福島和夫他解説

藤原氏の嫡流である近衛家に歴代集積・収蔵されて来た貴重な飼料や文献は、今日、陽明文庫と命名され保存されている。この文庫の中から特に国文学に関係深いものを選び、専門家諸氏の解説を得て写真製本として公刊。

【内容】

(重文)琴歌譜(平安中期写)一卷／(国宝)神楽和琴秘譜(平安中期写)一卷／(重文)承徳本古謡集(平安中期写)一卷／(重文)五絃譜(平安中期写)一卷／朗詠譜(鎌倉末期写)一帖／鳳笙譜調子譜(平安末期写)一卷／神楽譜笛譜残卷(平安中期写)一卷／樂目録(室町中期写)一卷／催馬楽琵琶譜断簡・高砂(平安末期写)一葉／催馬楽断簡・老鼠(平安末期写)二葉

▶菊判・304頁／本体 11,800円(税別)

ISBN4-7842-0145-9

神霊の音ずれ 太鼓と鉦の祭祀儀礼音楽

朱家駿著

祭祀儀礼に用いられる太鼓や鈴・鉦の音楽的な機能と本質はどこにあるのか―祭祀儀礼の音をさぐるフィールドワークと象形文字に発した古代漢字(音・楽・鼓など)の分析を重ね合わせることによって神霊と音のさまざまなすがたを明かす。

▶A5判・196頁／本体 3,500円(税別)

ISBN4-7842-1095-4

源氏物語 遊興の世界

逸翁美術館・池田文庫編

2012年逸翁美術館で開催された同名展、同日程で池田文庫で開催された「宝塚歌劇の源氏物語」展での展示図録。描かれた『源氏物語』を中心に、雅やかな世界を現代に蘇らせる。特に物語に描かれた「奏楽」「舞楽」「基」など「遊興」に注目し、屏風や画帖などに鮮やかに再現された「遊興」の世界をたどる。

▶A4判・98頁／本体 1,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1655-0

祭礼と芸能の文化史

園田稔・福原敬男編

神社史料研究会叢書Ⅲ

神社・神道研究のみならず、地域史・政治史・社会経済史・文化史、さらに文学・芸能・音楽・民俗ほか幅広い分野の研究に資するという視点で神社史料の有効活用・研究の深化普及を目的として結成された神社史料研究会の研究結果から、神社を祭場・舞台として繰り広げられる祭礼と芸能を特集。

▶A5判・300頁／本体 6,500円(税別)

ISBN4-7842-1159-4

※早池峰岳神楽の敬称と伝播

中嶋奈津子著

佛教大学研究叢書18

早池峰神楽とは、岩手県北上高地の主峰早池峰山麓の二つの集落に伝承される岳神楽と大償神楽の総称で、2010年にユネスコ無形文化遺産に登録されている。本書は岳神楽と、その流れを汲む神楽に着目し、その師弟構造と機能、さらに岳神楽の継承と伝播がどのような形でなされてきたのかについて、時代背景を踏まえながら解き明かす。

▶A5判・234頁／本体 4,600円(税別)

ISBN978-4-7842-1676-5

訓讀註釋 儀式 踐祚大嘗祭儀

皇學館大学神道研究所編

天皇一代一度の国家祭祀・大嘗祭の祭祀・儀式の全貌を示す、最も古い確かな文献である『儀式』(貞観儀式)。本書は、皇學館大学神道研究所が長年に亘り取り組んできた、現存本『儀式』巻二・三・四「踐祚大嘗祭儀 上・中・下」の訓讀・注釈研究の成果。底本には天保五年の版本を用い、その他の写本・活字本と対校した。

▶B5判・890頁／本体 15,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1619-2

大徳寺伝来五百羅漢図

奈良国立博物館・東京文化財研究所編

中国・南宋時代の寧波周辺の地において、淳熙5年(1178)からほぼ10年をかけ、林庭珪・周季常という絵師により全100幅が制作され、うち82幅が大徳寺に伝来する「五百羅漢図」。共同研究の調査報告書を大館に増補改訂し、論文・参考資料を追加・加筆のうえ、図版をより大きくし、高精細カラー印刷にて公刊する。

▶B4判・312頁／本体 50,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1743-4

天皇・将軍・地下楽人の室町音楽史

三島暁子著

南北朝・室町時代を通じて天皇・将軍が学び権威のシンボルとなった「笙」、その位置づけの変化は、音楽や音楽の関わる儀礼、またそれに携わる人々に、いかなる展開をもたらしたのか。本書では、天皇家・将軍家の笙の御師範として重要な役割を果たした地下楽人豊原氏の南北朝期から約150年にわたる活動に着目し、公・武・楽家という3者の関わりの中から、権威に密接にかかわった音の文化を論じる。

【内容】南北朝・室町時代の笙の楽家豊原氏／足利将軍家と笙／後光厳流天皇家と笙／笙の公武御師範と豊原家嫡流

▶A5判・360頁／本体 6,600円(税別)

ISBN978-4-7842-1609-3

宮古島狩俣の神歌 その継承と創成

内田順子著

沖縄県宮古島狩俣集落における伝統的祭祀歌謡(神歌)の永年のフィールドワークをもとに、歌われる歌の諸表現が、その都度どのように生み出され、それが演唱者や社会によってどのように意味づけられてゆくの。歌詞のみによらない新たな歌謡分析の方法を提示した意欲的な一書。

▶A5判・300頁／本体 6,600円(税別)

ISBN4-7842-1036-9

茶の湯と音楽

岡本文音著

室町時代後期の草創期から江戸時代初期の千利休による大成という、茶の湯が発展・拡大へと向かう時期の文献をひもときつつ、「音楽」の世界をとらえてみえる茶の湯の美意識を、大きく能楽、「峯すり」、茶の湯の釜の煮え音「五音ノ湯アヒ」、茶の湯空間における音という4つのトピックから明らかにする。

▶A5判・376頁／本体 7,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1606-2

散所・声聞師・舞々の研究

世界人権問題研究センター編

散所の人々が携わった芸能あるいは陰陽道などのかかわりを含め、文獻・絵画・地図の綿密な分析をこころみ、洛中・山城国・近江国における実態を浮きぼりにする。共同研究のまとめとしての座談会のほか、研究ツールとしての年表・文献目録・基本史料を収録、古代・中世社会の研究にとって欠くことのできない基本文献。

▶A5判・590頁／本体 8,200円(税別)

ISBN4-7842-1219-1

京舞井上流の誕生

岡田万里子著

京都の花街祇園に伝承され、特色的な型や伝承作品が話題にされる京舞井上流。近世から近代にいたる流派の歴史を検証し、伝承作品群の成立背景を考証する。堂上・花街文化、そして、能、人形浄瑠璃、歌舞伎といった他の芸能の影響を確認しつつ、その豊饒な母胎―近世後期京都における芸能的世界の解明に挑む。

▶A5判・552頁／本体 9,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1672-7

※日本古代即位儀礼史の研究

加茂正典著

本書は大嘗祭はもちろん、剣璽渡御儀礼・即位式といった広義の即位儀礼をとりあげることににより、桓武・平城朝における即位儀礼の儀式的意味と歴史的意義を明らかにする。さらに資料篇として古代即位儀礼史料年表、新嘗祭・大嘗祭関係文献目録(昭和20年～平成10年)を収載し、巻末には索引を付す。

▶A5判・480頁／本体 8,600円(税別)

ISBN4-7842-0995-6

中国南北朝隋唐陶俑の研究

小林仁著

始皇帝の「兵馬俑」で知られる俑は、死者とともに埋葬される副葬明器で、中国の南北朝から隋唐時代は質量ともにその黄金期の一つである。本書は、豊富な実物調査に基づいて、膨大な数の資料を造形的特質、様式の変遷、地域性などによって整理し、豊富な図版とともに美術史・陶磁史的視点からさまざまな論点を提示する。

▶B5判・438頁／本体 13,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1790-8

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。